

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年10月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300971
法人名	有限会社 なごみ福祉会
事業所名	グループホーム青い鳥
所在地	鹿屋市古江町796番地1 (電話) 0994-46-3056
自己評価作成日	令和2年8月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年10月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域住民や地域のこども園・小中学校と交流する機会をたくさん設けて、入所者は退屈しない様に努めていますが、今年はコロナですべてが中止になっています。入所者はこの季節クーラーの中の生活なので、時には海まで散歩に出かけ気分転換を図っています。入所者が不穏になった場合は、時間に関係なく海を見に連れ出しますと、穏やかになられるので、施設の近くに海があり助かっています。

ホームは、鹿屋市役所から10km程離れた古江地区の中心部に、平成18年4月に開設されている。同一敷地に同法人の住宅型有料老人ホームやデイサービスも併設されており、防災訓練や職員研修等は合同で実施するなど密に交流が図られ、協力体制を構築している。周辺には、古江漁港やこども園、商店、住宅等が立ち並び利便性も十分である。ホームの居室からは、海や夏の花火大会が望め利用者の心を和ませている。

地域密着型事業所として、地域との交流を大切に取り組んでおり、自治会に加入して地域行事への参加や施設見学及びボランティアの受け入れ、友人知人の面会等を積極的に取り組んでいる。キャラバンメイトやサポートワーカーの資格を活かして、日頃から認知症や高齢者福祉の啓蒙啓発に努め、また、地域住民から寄せられる相談等にも丁寧に助言している。

管理者及び職員は、数年前に見直した理念に沿って、利用者の尊厳や人格、想いを大切にしながら、常に自分の親と違って優しく寄り添ったケアに努めている。日頃のケアの中や面会時、電話等で利用者や家族の意向や要望等を把握してサービスの改善を図っており、家族との協力体制や信頼関係が築かれている。利用者の日々の生活も心身の状態や生活習慣に十分に配慮し、趣味の取り組みや余暇時間の過ごし方など個別の支援も工夫して取り入れるなど、生きがいのあるケアに努めている。

ホームは古江漁港に近く津波や高潮の災害危険地域になっているため、防災に対する意識は高く、定期的災害訓練のほか、毎月、マニュアルに沿って避難等の訓練を実施している。市職員を講師に津波災害に関する講演を実施し、近く避難訓練も計画しており、自動通報装置には住民3人も組み込まれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は「入所者を自分の親と思い優しく接し…」と掲げ、対応に困った場合に立ち止まり落ち着いて対応できるようにしています	数年前に見直した理念に沿って、利用者が地域や家族と触れ合いながら、ゆっくりその人らしい生活を過ごせる支援に取り組んでいる。理念は目に付き易い玄関やリビング、事務室等に掲示して家族も理解している。日頃のケアの中や申し送り時に振り返りや意見交換を行い「自分の親のように」を常に意識して理念に沿った支援に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	散歩の時間近所の方々と話せるように配慮する。又デイサービスに連れていき知り合いと気軽に話せるようにしている	町内会に加入して、会合への出席や地域の夏祭り、花火大会等へ参加している。中学生の職場体験、住民の施設見学、ボランティアの受け入れ、こども園の園児やサロンやデイサービスの利用者との交流等に取り組んでいる。家族・友人の面会や日頃の散歩時には地域の人と会話し、キャラバンメイトやサポートワーカーの資格を生かして地域の人からの相談に助言したり、認知症等の啓蒙啓発に取り組むなど、円滑な交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	昨年から地元サロンや健康体操教室を立ち上げるために、地元の方が参加する運営会議で議論して準備中である。開設したら施設が出来るレク等支援をしたいと思う		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議で頂いた意見を中心に、改善すべき部分の見直しや、新しい事への取り組みに生かしている	家族や町内会長、民生委員、市職員、住民代表等が出席して定期的開催しており、利用者の状況や行事、ヒヤリハット等の報告を行い、委員からは利用者のケアに関する質問や防災に関する意見が出されている。会議で寄せられた要望等は申し送りや職員会議等で検討してサービスの向上に繋げており、こども園の園児との交流や中学生の職場体験等の取り組みが実現している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	わからないことがあれば市に相談している為、周りの誤った意見に振り回されずに解決している。運営会議等でも会議の最後に相談する事もある	市の担当職員には運営委推進会議に出席してもらいホームの状況の理解を得ている。介護保険の手続きや各種の制度や報告に関すること、運営や利用者に係る相談等を電話や窓口に出向いて助言をもらうなど協力関係を築いており、行政主催の会合や研修会にも参加して改善に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護職全員が経験豊富で身体拘束については熟知していますが、研修を行いさらに正しく理解できるようにしています	身体拘束の廃止については、利用契約や重要事項に明記すると共に、研修を計画的に実施して認識を共有している。日頃の業務の中や申し送り、職員会議等でケアを振り返り、委員会も毎月開催して拘束の無いケアに取り組んでいる。入浴時には身体の異常の有無を確認し、不適切な言葉遣いには注意し合って改善に努めている。権利擁護や成年後見人制度についても研修の実施を検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加して虐待のないケアを学び実践している。又入浴時には身体に内出血等の傷がないか調べ、傷があればなぜできたものか確認。もし傷つけてしまった場合はインシデントを書いて状況報告している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見人研修に参加者が施設で全職員に講義するが、研修が少ない為ビデオでもあれば施設内で研修できると思う		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に詳しく説明を行い納得していただく。契約内容に変更等あればご家族の面会時、または家族会等で説明を行う</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関先に意見箱を設けている。また、家族会や花見等、家族が集合される機会に要望等を聞きケアに反映させている</p>	<p>管理者および職員は日頃のケアの中での会話や仕草、独自のサイン等で利用者の意向の把握に努め、家族からは面会や行事、家族会、運営推進会議等で意見や要望を聞き取るように努めている。出された要望等は申し送りや職員会議等で検討してサービスの改善を図っている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員の中には業務改善に、とても良い意見を出す人もいるので、気軽に話せる様にし良い意見は反映させているが、時々自己中心的業務内容にしたい動きがある為、入所者中心であるべきことを伝える</p>	<p>管理者及び職員は、気軽に意見を言い合える信頼関係を構築しており、日頃の業務の中や申し送り、必要に応じて個人の面談も実施して、要望や意見を把握しており、法人本部とも協議しながら改善に努めている。スキルアップを図る研修の実施や資格取得へのバックアップ等に努め、個人的事情や休日の希望にも配慮して勤務シフトを作成する等、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。職員の努力や実績が手当に反映するなど、給与体系も確立されて職員の就労意欲に繋がっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>個々の努力や実績に関し処遇改善手当が違ふ。又、業務上職員間の情報交換や連携、積極性についても処遇改善の査定に反映される</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や介護職員が質の向上に努められるよう、必要な研修に積極的に参加させている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>退職した人が、他の施設に入り自己研鑽の為に情報交換しあっていたり、同業者で同年齢層の人と研修で親しくなり、情報交換しあっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>不安なことは繰り返し口にされるのでよく聞いて、訴えの根本に何があるのか聞きだし、対応を考え早く解決させ不安を取り除き信頼関係を深めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービス開始時の心配事は、入所以来日々どうしているか気にされているので、生活状況を報告して安心して頂いている。気がかりな件は必要機関に問い合わせ解決している</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>Tン当社会議等で繰り返される言葉が一番の課題と考えそれを取り巻く問題まで含めサービス内容を検討する</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入所者を自分の親と思いつける事で、介護を受ける一方的な相手とは考えない</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何か対応困難事例が発生すると、家族に報告し協力を求め解決する事や、とりあえず落ち着く事がある。その後話し合いの元対応策を考えていく		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	デイサービスの利用日に知り合いと顔を合わせたり、サロン開催時にメンバーをホームに案内して、地元の情報について話して頂き自宅を気分を味わう	入所時や日頃の利用者の会話、家族からの情報等で馴染みに関する情報を把握し、心身の状態や感染症予防に配慮しながら散歩や買い物、通院、外食、地域行事、一時帰宅等を家族と協力しながら取り組んでいる。家族や友人等の来訪時には、ゆっくり面談出来るように配慮し、電話・手紙の取り次ぎで利用者の近況を伝える等、関係の継続に努めている。新型コロナウイルス感染症による自粛も最近緩和して家族との面会が実施されている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	世話好きな方やしっかりした方が、周りを気遣い声掛けして下さり、お互いに支えあい共同生活している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移設された場合はその後の状況を聞いたり、死亡退所された場合は、初盆や命日等に電話を入れる。そのような繋がりがある為に新しく入所者を紹介して下さる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	昼寝の習慣がある人ない人、入浴について毎日入る習慣や洗髪等について、細かい個人の要望を受け入れ、無理強いはしない。シャンプーハットや顔をタオルでおおい洗髪する人もいる	利用者の思いを、日頃の会話や独自のサイン等で把握し、習慣等にも配慮して本人主体の暮らしとなるよう家族の意見も聞きながら取り組んでいる。全員での活動に加え、利用者が希望する趣味（新聞読み、パズル他）や家事（食材の下処理、テーブル拭き等）の取り組みも残存機能や体調に配慮しながら個別に支援し、それらの成果には言葉で感謝や評価を伝えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	まず本人からゆっくり聞き出し、答えられない事や確認の必要な件については、家族に聞き生活歴等の情報を得る		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの1日の過ごし方や心身状況、有する力等一人ずつ違う事を職員はしっかり把握している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーが作成したプランは、職員会で読み上げ介護職員の意見を聞き、アイデアを導入して対応の仕方を変えていく	利用者や家族の意向を把握し、主治医及び看護師の指示やモニタリング等での職員の意見を基に残存機能や生きがいに着目した利用者主体の詳細な計画を作成している。ケアの実施状況は、申し送りや介護日誌等で共有し、利用者の状態変化に対応した介護計画で改善を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に記した内容は、ケアの見直しの参考になるので「特記」のスペースを設け、問題発生等課題を探しやすくして、実践やプランに反映している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入所者や家族のその時々々の状況に対応するため、職員や法人内の看護師等に相談し、柔軟な支援を行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域団体の活動やボランティア活動グループを把握し施設との交流を図り入所者が楽しく暮らせるように配慮している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各Drごとに状況報告ノートを用意して、一人一人の変化や必ず伝えたい事等を記入し、訪問診療時間内に伝えられるようにしている	入所前の病歴や受診状況を把握し、本人や家族が希望する医療機関での治療を支援しており、6医療機関が主治医となっている。通院や定期的な訪問診療、法人の看護師の定期訪問が実施され、他科受診も家族及び職員が協力して同行しており、医療機関との連携も「状況報告ノート」を活用して密に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入所者に異常が起きたら法人内の看護師に報告し診てもらい指示に従う。Drに電話し訪問診療を受ける事や、他の病院を受診している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>医療連携機関の病院に入院する事が多い。入院しても治療以外に大きな変化がない様に、施設での生活状況を記入したサマリを作成し渡している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>施設内で「看取り」を行う事は入所時に伝え、「看取り介護に関する同意書」を記入して頂く。終末期には医療連携に必要な時系列バイタルと細かな変化を伝える集中記録シートを準備している</p>	<p>終末期の対応については、入所時に「重要事項説明書」や「看取りの指針」で説明して同意を得ている。重度化した時点で主治医より病状の説明があり、家族の意向に添って可能な限りのケアを集中記録シートを活用して取り組んでおり、これまで6件の看取りを実施している。重度化対応に備え、医療機関との連携や職員のスキルアップを図る研修を実施している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変や事故発生時に備え、最近研修できていない為、職員の中には対応できない者もいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	訓練は行っているが、間違いなく全員を避難させられるかわからない。地震と水害については7月訓練予定であったが、市内で水害が発生した為、鹿屋市へ延期のお願いした	消防署の協力を得て、年2回夜間発生も想定した災害訓練を「住宅型有料老人ホーム風」やデイサービス事業所と一緒に実施し、避難や通報、消火器等の取扱いの研修も実施している。海岸に近いこともあり、津波災害について市職員の講演を受講し、避難訓練も予定している。スプリンクラーや自動通報装置が設置され、災害発生時の食糧・飲料水や卓上コンロ、ラジオ、介護用品を備えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症であっても感情の部分は記憶に残ると聞いている。一人一人のプライバシーやそれぞれの誇りとするものは傷付けない様に配慮しているが、親近感の持てる声掛けはしている	利用者の人格や尊厳を損ねる事の無いよう自分の親に接する気持ちで言葉かけやケアに努めており、勉強会も実施して認識を共有している。利用者の心身の状態やこれまでの習慣、自己決定に配慮しながら、利用者主体のケアに取り組んでいる。居室やトイレ、風呂場はプライバシーが確保された構造で個人記録等も適切に取り扱われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるようにゆっくり待っても、本人の思いがうまく言葉や表現できない時は家族に聞いている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切にしてレクへの参加や昼寝等、無理強いしない様にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ヘアスタイルや機体洋服は個人で選んでもらう		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の好みまでは考慮できないが、全体的に好みのものとし歯がなくても食べやすい様に小さく刻んでいる。立位保持できないので、座って出来る野菜の下ごしらえやお盆拭きは手伝って頂く	利用者の好みや形態、栄養バランス、アレルギー、季節感等に配慮しながら食事づくりに取り組んでいる。行事食（おせち、彼岸、誕生会等）や手作りのおやつ（団子、ふかし芋他）、家族との会食、外食等食事が楽しみなものになるよう工夫し、座席の配置や活花等で雰囲気づくりにも配慮している。利用者も食材の下処理や片付け等を一緒に行い、職員も歓談しながら同じ食事を摂っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	蛋白質やビタミン類の栄養バランスを考慮している。水分は主治医に指定された量で調整。調整のない方は1400cc摂取して頂く		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアはそれぞれ自分で出来る方にはしてもらいが、義歯洗浄舌ブラシの支援、うがいのみと様々です		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄習慣を生かしトイレ誘導を行い、失禁する事がないように配慮している。早めに誘導したつもりでも時には漏れがある	利用者の排泄パターンや習慣を把握し、昼間は可能な限りトイレでの排泄を支援しているが、重度化により立位が困難な2名がオムツ使用となっている。心身の状況に応じた介護用品やケアの方法を、介護計画に反映させて改善に取り組んでおり、ポータブルトイレにはカバーをかけるなどの配慮がされている。便秘の予防に食物繊維や水分の摂取、運動量等に配慮し、主治医にも相談しながら改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便コントロールが一番難しく、自然排便の状態に調整したいとあれこれ検討する事が多い。現在あと一人がうまく調整出来ていない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一応部屋の順番で4名ずつ入浴して頂くが、入浴を拒否される人がいたら無理に入れないで翌日にずらすようにしている。洗髪も拒否があれば次回に行っている	基本週3～4回の入浴を計画している。排泄時の汚染等には、その都度清拭や入浴で清潔を保持し、予定外の入浴希望者にも柔軟に対応している。利用者の好みの温度や時間、習慣に配慮して、ゆっくりした気分で楽しんでいただき、入浴後は皮膚疾患の手当や水分補給を行っている。入浴をためらう利用者には、時間や職員の変更、声かけ等を工夫して利用者の意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夕食がすむと就寝時間は個人の希望に応じて対応している。温度や照明も個人の希望に合わせて調整している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬品名を覚えるようには努力しているが難しい。どんな病気でどんな薬を飲んでいるかはある程度把握している。又その薬をずっと服用する必要があるかどうかDrに確認する事もある		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	もやしの根切り、ジャガイモの皮むき、タケノコやつわむき等、また、おぼん拭き、洗濯物たたみの手伝い。散歩やレクへの参加などで気分転換している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	落ち着きがない時は海を見に連れ出し気分転換を図る。お祭りや花火見学は家族と共に出かけられるようにしている	利用者の心身の状態や天候等に配慮しながら、日常的に周辺の海岸や公園での散歩や日光浴、サロンやサービスの利用者との交流を行っている。墓参や一時帰宅、外食等を家族の協力を得ながら取り組み、また、季節の花見や地域のイベントへの参加など全員での外出も計画的に実施して利用者の楽しみとなっているが、新型コロナウイルス感染症予防のため、現在は外出は控えてホームでのレクリエーションの工夫で気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	職員は本人がお金を持つことの大切さについて良く理解しており、きちんと理解できる人には取り扱いの収入と支出について説明し、必要物品があれば購入する		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	手紙は書かないが電話で話して頂くことはある		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	車いす利用者が多くなった現在、食堂は狭くてゆっくりテレビを見られない席もある為、食事が終わるとホールに移動してTV観賞して頂く。散歩の帰り道に季節の花を摘んで洗面所に飾っている	廊下やリビング等の共有スペースは、明るく開放感に満ちて随所に活花や利用者の作品、絵画、季節に応じた展示物が飾られ、また、対面式の台所からは調理の音や匂いが伝わるなど、家庭的な雰囲気である。テーブルセットやテレビ等が利用者の動線に配慮して設置され、廊下には休憩用の椅子やベンチも置かれている。清掃や空調、衛生管理等も徹底しており、利用者は好みの場所で平穩に過ごしている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	狭いながらも気の合う人と隣席して楽しい時間を過ごしている。一人になれる場所はない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には自宅で使い慣れたタンス等が持ち込まれ、身内が遠くにいる方は仏壇を飾っている人もいる</p>	<p>腰高窓でフローリング仕様の居室は、余裕のある広さで明るく落ち着いた雰囲気、エアコン、ベッド、クローゼットが備えてある。利用者の状況に配慮しながら担当職員が整頓や清掃等を支援し、家庭同様に快適な生活の維持に努めている。利用者は愛着のある小物や使い慣れた寝具、テレビ、仏壇、家族写真等を持ち込み、また、自分の作品も飾って、その人らしい居心地の良い居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>必要と思われる場所には手すりを設置し、自分で出来る事は出来る限り自分でやってもらい、達成感や満足感を味わって頂くように支援している</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
		○	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない